

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ハッピー西川口教室

公表日 2025 年 10 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1		人数によっては狭く感じます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		その日の利用数に関して、適切な人員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		おし様が最適に過ごせるように視覚情報の量にも工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2		建物が古く、喚起が出来ないです。エアコンも仕様上壊れやすいです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		おし様の状況に応じて個別対応をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1		振り返りの時間を多くとっていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		頂いた内容を職員間で共有して、改善をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			個別で話す機会があるとより話しやすいと感じます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1		研修等の掲示方法が分かりやすくなるといいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		HP上に支援プログラムが公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		児発管主導の元、適切にアセスメントを取り計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		児発管・専門職・保育士等様々な観点から検討会議を開いています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		個別支援計画を基に支援プログラムを作成しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		学校の様子・ご家庭の様子・出来る事柄等記載できるアセスメントシートを使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	本人支援・家族支援・移行支援を含む計画書を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	全職員でおし様の共有を行い、支援プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		おし様が楽しめるように支援教材を選択しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	集団・個別にてニーズを分け目標達成に向けたプログラムを作成しています。	

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	支援前にはどういった教材がいいのか職員間で話し合いが出来ています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	その日の支援の様子を共有して、次回の支援に生かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援の留意点、提案も記載しています。 保護者様からいただいた情報や、ご家庭での取り組み状況についても記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングを実施し、見直し等しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9		4つの基本活動を複数合わせて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		意志の決定場面を設け、自己解決できるように課題選択を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児発管・担当職員同席のもと会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			今後は保育・教育機関等連携を図り多角的に支援の体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		必要に応じて、学校連携を図りハッピーの様子・学校の様子を共有出来ています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		必要に応じて園や他事業所と連携を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		保護者様の意向を伺い、希望があれば行なっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	地域の研修に積極的に参加できています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		今後は児童間や放課後児童クラブにも交流が出来るように準備して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	8		参加できる機会が分かっていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		FBや家族支援を基に適宜情報共有出来ています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		必要に応じて個別・集団でペアレント・トレーニングを実施しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者様のニーズやお子様の希望を聞く機会を作っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		作成時には保護者様に計画を説明して、同意を頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		面談や相談援助を適宜行っております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	7	ご兄弟様にご利用者様と一緒に参加できる機会を設けています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		事実確認を行い、改善が必要なものに関しては保護者様へ説明を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1	ブログを随時更新しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きキャビネットを使って保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		視覚情報の提示やそのお子様が分かりやすい教材を使用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		行事の参加はありますが、開催はまだありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各種マニュアルは会社指定の保管場所に格納されています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		避難訓練、水害訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			地域柄、外国人のご利用者様が多く服薬情報が書かれていないことがあります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画の研修の参加、訓練を全職員実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		非常災害時の連絡先の記載と災害用のスマートフォンがあります。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリの共有、再発防止を教室で行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会主の元、全職員研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		緊急やむを得ない場合の身体拘束であったり、事前に身体拘束をする可能性がある方に関しては会議等行い説明をしています。	